

## 滋賀県における医療人の育成に関するFD・SD研修会を実施しました

2024年11月25日

11月12日(火)16時30分から、看護学科第一講義室にて「地域包括ケア時代における医師・看護師の役割」をテーマに、滋賀県健康医療福祉部 次長 切手 俊弘 氏にご講演いただきました。

今年度より滋賀県内の看護系大学に地域枠が設置されたことに伴い滋賀県における医療人の育成について、滋賀県内の地域格差、地域医療構想や地域包括ケアシステムの在り方、医師・看護師の確保対策など、現在の滋賀県の状況や今後の課題も含め、幅広いお話をしていただきました。その後、質疑応答を含めた意見交換が行われました。

約50名が参加（Zoom含む）し、学外からも滋賀県内看護師養成学校の関係者や里親の方々も参加いただきました。

ご多忙の中、多数ご参加いただきまして、ありがとうございました。

（このFD・SD研修会は、里親学生支援室とNPO法人滋賀医療人育成協力機構との共催で行いました。）



【講演の様子】



【質疑応答の様子】



【永田先生の閉会の挨拶】

## 【ご案内】学園祭での地域「里親」ブース設置について

2024年10月1日

里親学生支援室では、「学園祭（若鮎祭）」期間中に『地域「里親」ブース』をNPO法人滋賀医療人育成協力機構と合同で設け、事業の紹介や活動内容等がご覧いただける写真等の展示を行います。  
お時間のご都合がございましたら、是非お越しく下さい。

ブース開設時間

「学園祭（若鮎祭）」

日時： 令和6年10月26日（土）10:00～16:00

10月27日（日）10:00～16:00

場所： 滋賀医科大学 福利棟1階入り口付近

里親学生支援室からのお知らせ 10/26(土)・27(日)

# 学園祭(若鮎祭)での地域「里親」ブース設置のご案内



地域「里親」学生支援事業とは??

将来地域(滋賀)での医療活動を志す医学生を、地域で活躍する医師・看護師・助産師・保健師や地域住民が「里親」・「フ千里親」となって支援することで、地域医療にたずさわる医療人として養成し、深刻化する地方の医師不足・看護師不足の解決をめざすための事業です!!

どんな活動をしているの?

里親事業として13回目の卒業生6名を送り出し、現在、72人の学生に対して里親が80人、フ千里親が9人登録いただき、里親の方々にはメールなどを通じて学生と交流いただいています。また、里親・フ千里親・教職員は学内外を問わず学生支援のための研修会を実施し、滋賀の医療の現状についての知識を共有する機会を設けています。3月には長浜市・湖北地域方面への方面への宿泊研修を実施し、学生たちには地域医療の現状や歴史・文化等を学んでもらいました。

1月...意見交換会(里親・フ千里親・教職員)

3月...高島市・湖西方面での宿泊研修  
などなど...

今後の予定は?

**里親・フ千里親としてご協力いただける方、随時募集中!!**



**⑤福利棟1階**

## 若鮎祭期間中

<https://www.shiga-med.ac.jp/wakaayu/>

<10/26(土)・27(日)>

左記の矢印の場所に、NPO 法人滋賀医療人育成協力機構と合同でブースを設けておりますので是非お越し下さい!

宿泊研修などの活動内容を  
展示しております!

※ブース開設時間は次の通りです  
10/26(土)・27(日) 10:00~16:00

↓↓詳しくは 下記問合せ先まで ↓↓

【問合せ先】 滋賀医科大学 里親学生支援室

TEL 077-548-2072 FAX 077-548-2799

Eメール:safuoya@belle.shiga-med.ac.jp <https://www.shiga-med.ac.jp/~safuoya/>

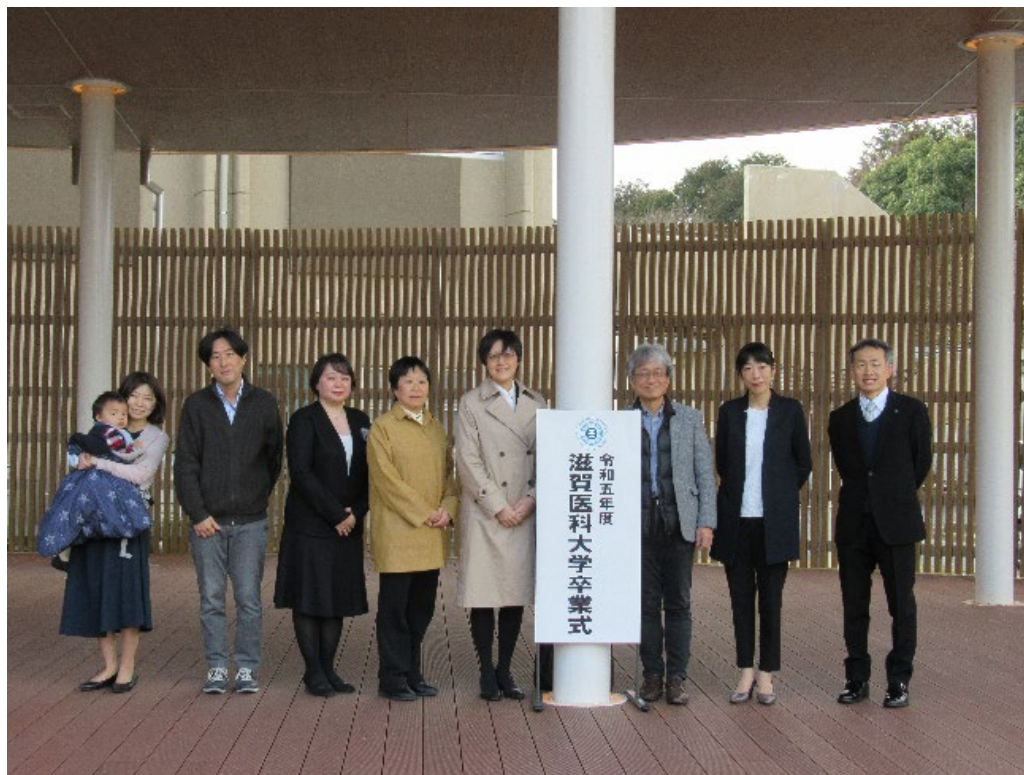


## 里親学生支援事業としての13回目の卒業生を送り出しました

2024年3月8日

令和6年3月8日(金)に令和5年度滋賀医科大学卒業式が挙行され、里親学生支援事業としては、13回目の卒業生(医学科5名、看護学科1名)を送り出しました。

学生たちが、それぞれの新しく進む道で活躍し、また、今度は自分たちが里親となり、後輩たちを支援してくれればと期待しています。



## 令和5年度 里親学生支援事業 学外研修会・意見交換会を開催しました

2024年1月25日

1月18日（木）草津市立市民交流プラザにおいて「地域里親学生支援」の事業の一環である「学外研修会・意見交換会」を開催しました。

今回の研修会では、滋賀医科大学公衆衛生看護学講座（訪問看護） 辻村教授から「訪問看護の魅力と課題」と題して、里子（学生）にも分かりやすく、訪問看護の在り方や利用状況、訪問看護師の必要性や課題について講演いただきました。

新型コロナウイルス感染症拡大の状況を受け、過去3年間はZOOM配信による研修会となっていました。4年振りに対面で開催することができ、里親の先生方、プチ里親、後援会役員、しゃくなげ会役員の方々に参加していただきました。

和やかな雰囲気の中、里子も交え、意見交換や懇談が行われました。



お忙しい中、ご出席いただきました皆様、ありがとうございました。

※滋賀医科大学地域里親学生支援事業として、里親（県内で活躍されている医療従事者）・プチ里親（地域の皆様）・里子（この制度の登録学生）が交流し、医療人としての心構え、地域医療の現状などを伝える場として毎年1回開催しています。